



鶺鴒つうしん

岐阜ダルクニュースレター平成 30 年春号 (65 号)

表現することの楽しさ



施設長 遠山香

前回のニュースレターで報告しましたが、昨年末にシスターから教会でクリスマス会をやるにあたり、「愛」をテーマに演劇をやらしてもらえないかと声をかけてもらいました。

実は何年前に、薬物依存症に陥った体験談を演劇にできないかと、台本の書き方を教えてくれる方や演劇指導をしてくれる方がいないか探した事がありました。しかしその時は、そのような出会いは残念ながらありませんでした。今回、岐阜市ボランティアセンターでお世話になっている方にご紹介いただき、岐阜市で活動している「劇団はぐるま」で活躍され、平成 23 年岐阜県芸術文化奨励受賞され、飛騨、美濃創作オペラに数多く出演された先生との出会いがあり、夢が叶いました。「どん底からの出発」と題して、神様の愛に導かれてダルクにつながった体験を演劇で表現することに皆でチャレンジしました。

稽古の時「どうして止めたのに薬がやめられないのー」と仲間が泣きながら絶叫するシーンがあり、過去の自分を思い出してしまっ、その場面では毎回涙がこぼれました。

初舞台の本番では、割れるような拍手を浴び、感動を味わいました。シスターの皆さんもとても喜んでくれました。仲間達も表現することの楽しさを知ったのではないかと思います。

4 月には自助グループのイベントで、少し内容を変えて演劇を披露しました。5 月 20 日の日曜日には、ルーテル大垣教会で演劇を発表することになりました。とても楽しみです。皆様、ぜひ観に来て下さい。

演劇の先生は、学校でやれたらいいんじゃないかと言ってくれます。今まで学校では、薬物依存症に陥った体験談による啓発活動を行っていますが、演劇による啓発活動を行う夢が膨らみます。そのような機会が与えられますようどうか力を貸して下さい。

今年は岐阜ダルク女性ハウス設立 5 周年になります。12 月に 5 周年フォーラムを開催する予定です。その時にも演劇を皆様に披露できればと思います。

詳細につきましては、ニュースレター秋号でお知らせしたいと思います。

仲間の体験談

でいちゃん



岐阜ダルクに入所して3月28日でちょうど1年が経過。「自立・自律」を今年の目標に挙げた自分のプログラムに毎日全力を尽くして取り組み中。

2月に入ってすぐ、就労プログラムの提案が出た。待ちに待った就労のはずなのに、期待や喜び以上に何故か不安や恐れを感じてしまっている自分に気付き、ショックを受けた。「早く働きたい！もう働ける！」と訴え続けてきた自分の裏側にある恥ずかしくて情けない感情と認めたくない自分の最も弱い部分…それを勇気を出してミーティングで正直に話した。涙がとめどなく溢れた。そして、自分が処方薬に依存したのも、その不安や恐れを隠すためだったということ再認識できた。

今まで経験したことがない職種で人と関わる新しい仕事、1日8時間で週3日という提案。施設周辺のバイト求人情報を走って探して条件に合うところをリストアップ。そこから施設がえらんだところに電話して面接。

1か所目…不採用。自分の過去の社会経験に対する自負からの奢りや雇っていただくための謙虚な姿勢が足りず準備不足だったことなど、ミーティングで話しながら反省点に気付いた。準備万端で臨んだ2か所目…不採用。この時も、結果を謙虚に受け入れること、年齢や先の事ばかり考えて焦り過ぎないことなどをミーティングをつかって自分に言い聞かせた。3か所目…面接中に即採用！面接官とガッチリ握手。共に喜んでくれた仲間に感謝。

今働き始めて3週間目。覚えることばかり。テンパってばかり。8時間動きっぱなし。でも、仕事の後に運動できるくらい体力面と精神面が大きく変わった。去年の今頃の自分とは比較にならない。1年間本気で頑張った成果。全力で働ける喜びを胸に、格好良い自立に向けて今日も1日謙虚にひたむきに楽しんで全力を尽くします！

ふくちゃん



アルコール依存症のふくちゃんです。施設に、入って2度目の通信を書きます。

私にとっては、施設生活の中で様々な経験をしました。大勢の人前で、さまざまな体験ダルクの1日の文章のみずから考えミニフォーラムで発表した事、遠くのNA会場に一人で行ったり、他のプログラムを受けるためや他の施設の仲間とのかかわりを知るため岡崎ダルクに週2日通所した事、香川ダルクに2週間プチ入寮した事、その施設によってプログラムが違つてとまどう事もありましたが、そんなとまどっている私に、仲間たちは協力してくれました。

私は、近々施設を円満退寮する予定であり、今は自宅に帰る練習などを行っています。

今の私のおそれは、母子家庭でもあり、長女は高校を卒業をしてこの春新社会人になり一人暮らしを始めます。二女は、春から小学校3年生になります。でもまだ二女には、長女が家を出て一人暮らしをはじめるとは怖くて言えません。子供達は、トラウマ、アダルトチルドレンになっていて、とくに二女はひどいので、申し訳ない気持ちでいっぱいです。

今は、私自身いろんな事があたえられています。

ボランティアだより

パソコン指導ボランティア
渡邊麻理



昨年の7月から、ステップハウスでパソコンのボランティアをさせていただいています。福祉の仕事をしており、職場の近くにあるダルクさんも一度見学をさせてもらいたいなあと思いつつ、2、3年経っていました。そんな時にダルクでパソコンボランティアの募集をしていることを知り、思い切って挑戦してみようと思いつきました。

ボランティア活動は初めて、行ってみたいけど嫌だったら辞めればよかったと思っていました。緊張しながら、週に一度のペースで通い、始めはタイピング練習、テキストに沿った学習と型にはめた進め方をしていました。何かしっくりこない、タイピング練習も私が行く時だけ？このやり方でスキルアップできるかな？

不安に思っていたところ、まさひろさんから、ダルクの案内や通信を作る時に困っていることがあるので、それを教えてほしいという話がありました。実践課題に路線変更です。まさひろさんは、ダルクの通信や講演会の案内などを以前から作成しており、あまり教えることもないかなと思いつきましたが、ほんのちょっとしたコツでもとても喜んでくれ、ボランティアの時間が楽しくなってきました。

その後、パソコンが得意なけいこさんが加わり、今はちきこさんが、初めての通信を試行錯誤しながら一生懸命作成しています。ステップハウスでは皆さんが気持ちの良い挨拶で迎え入れてくれ、職場が近いので、道で会っても素敵な笑顔で挨拶をしてくれます。

今は、ダルクでボランティアをした帰り、とても清正とした気持ちになり、日頃の小さな不満や疲れが無くなるように感じることが多くなりました。みなさんとの楽しいひと時をこれからも大切にしていきたいと思っています。でも、もう教えることが無くなりそうです。

先生に教えてもらうこと

まさひろ



薬物依存症のまさひろです。

去年の7月から週に1回、パソコンのボランティアの渡邊先生に来ていただけるようになりました。来ていただいた最初はエクセルのやり方をテキストにそって教えてもらってましたが、鶴鯛つうしんの作り方や、地図の作り方を自己流で覚えたやり方と違うもっと早くできる作業のやり方などを教えてほしいと言ったら、すぐに路線を変更してくれて教えてくれるようになりました。パソコン作業でここがわからないと質問すると分かるところは丁寧に教えてくれるのですが、先生にも分からないところは、帰ってからわざわざ調べてくれたり、同僚のパソコンに詳しい人に聞いてくれてメールで送ってくれたりして、すごく丁寧だなぁと思って、わざわざありがとうございますとお礼を言ったら、私も一緒に勉強させて貰ってますという返事が返ってきたときに、僕はその謙虚さにびっくりしたのを覚えています。

パソコンの使い方だけでなく、今は、僕に欠けている丁寧さや謙虚さなども教えてもらっています。

僕は、人とコミュニケーションをとるのがすごく苦手なので、先生と最初は、話したりあまりせず黙々とパソコンをいじってましたが、ちょっとずつ会話をするようになり、今では結構いろいろな話をするようになったなあ自分では思っています。

まだまだ、コミュニケーションがあまり取れないですが、先生からパソコン以外にも色々な事を教えてもらいながら一緒にやっていきたいです。よろしくお祈りします。

3/25 岐阜ダルクミニフォーラム in 瑞穂市



各務原病院院長天野宏一先生のお話

皆さんの感想 (アンケートより)

- ・ 家族や仲間など周りの人間もさることながら、本人の意識、本人の自覚を支える難しさ大切さが少なからず理解できました。
- ・ 矯正施設で出来ることと出来ないことを、改めて考えるきっかけになりました。
- ・ 悩んでいるのは一人ではない。病気を治そうとしている人たちの気持ちが伝わりました。天野先生の話がとてつもないになりました。

会場内の献金が 29,013 円でした。仲間達で作ったクッキーや陶芸作品の売り上げ 34,550 円でした。ありがとうございました。この浄財は大切にに使わせていただきます。

2/20 スノーボード



人生 2 回目のスノーボードに鳥取、岡山、岐阜の仲間で行きました。今はこけるの専門だけど滑れるようになります。(まさひろ)



3/17 フリーマーケットに出店



仲間たちが作った作品です



プログラムで作った陶芸作品をフリーマーケットで出店しました。来て頂いた方、本当にありがとうございました。(ちさこ)

活動報告

1 月

- 28 岐阜ダルク家族会、日本バプテスト連盟東山キリスト教会にて活動紹介
- カトリック多治見教会にて活動紹介
- 31 レクリエーション (映画)

2 月

- 3 薬物電話相談日、本ノ本校区人權講座講演
- 4 日本聖公会名古屋聖マタイ教会にて活動紹介
- 8 ヨーガ 9 笠松刑務所薬物離脱指導
- 10 薬物電話相談日
- 11 岐阜ダルク家族会、日本キリスト改革派那加教会にて活動紹介
- 14 各務原病院メッセージ、南山高校講演
- 薬物電話相談日
- 15 ヨーガ
- 17 薬物電話相談日、徳島ダルクフォーラム参加
- 18 カトリック各務原教会にて活動紹介
- 救世軍名古屋小隊聖別会にて活動紹介
- 20 スノーボード
- 22 大津保護観察所面談 23 陶芸教室
- 24 薬物電話相談日、フラワーセラピー
- 25 岐阜ダルク家族会、犬山ハーフマラソン出場
- 26 ダルク後援会会議
- 27 笠松刑務所薬物離脱指導
- 28 レクリエーション (食べ放題・鬼ごっこ)

3 月

- 3 薬物電話相談日
- 4 愛媛ダルクフォーラム参加、日本福音ルーテル高蔵寺教会にて活動紹介
- カトリック大垣教会にて活動紹介
- 7 ケア会議 (刈谷病院)
- 8 ヨーガ
- 10 薬物電話相談日
- 11 名古屋シティマラソン・ウイメンズマラソン出場
- 岐阜ダルク家族会
- 12 ダルク後援会会議
- 14 笠松刑務所薬物離脱指導、各務原病院メッセージ
- 15 国際ソロプチミスト岐阜寄付金贈呈式
- 17 フリーマーケット (中川コロナワールド)
- 薬物電話相談日
- 18 日本同盟基督教団古川教会にて活動紹介
- 20 笠松刑務所薬物離脱指導
- 21 AA ビギナーズミーティングセミナー参加
- 22 ヨーガ 23 陶芸教室
- 24 フラワーセラピー、薬物電話相談日
- 25 岐阜ダルクミニフォーラム in 瑞穂市
- 28 ハルビア音楽祭出演
- 29 レクリエーション (プラネタリウム)

4 月

- 5 ダルク後援会会議
- 7 岡山 NA 花見&オープンスピーカー参加、薬物電話相談日
- 8 岐阜ダルク家族会、カトリック稲沢教会にて活動紹介
- 10 笠松刑務所薬物離脱指導、12 ヨーガ
- 14 フラワーセラピー、薬物電話相談日
- 15 カトリック宮教会にて活動紹介
- フリーマーケット (セラミックパーク MINO)
- 19 ヨーガ 20 陶芸教室、各務原 HP メッセージ
- 21 薬物電話相談日
- 22 日本キリスト改革派恵那教会にて活動紹介
- 岐阜清流マラソン出場、岐阜ダルク家族会
- 24 笠松刑務所薬物離脱指導
- 26 鶴点つうしん発送作業

2/3 本ノ本校区人權講座講演



施設のことを地元の人たちに聞いていただく機会をいただきました。貴重な時間でした。(タロー)

2/25 犬山ハーフマラソン



犬山ハーフマラソンに初めて出ました。練習量が少ないなか見事完走！ イェーイ！ (ケイコ)

3/28 ハルビア音楽祭



朝のミーティング後に、毎日歌の練習しました。みんながハモルとめっちゃ楽しくなって、本番すごく感動しました。大成功！！ (あやか)



薬物電話相談日&岐阜ダルク家族会案内
1. 電話相談は毎週土曜日(第5土曜日を除く)と第2水曜日に行っております。TEL:058-251-6922
2. 岐阜ダルク家族会は第2・第4日曜日に行っておりますのでお電話でご確認くださいわん! 🐾 TEL:058-201-3555

女性ハウス責任者 勇陽子



こんにちは。お花見の計画を立てる前にあつという間に桜の花は散ってしまいました。皆様はお花見へ行かれましたでしょうか？

女性ハウスの庭に、ボケの花と、ハナミズキの花が咲き明るい雰囲気になりお花見へは行けませんが、毎日その花を見てダルクへ通っています。

ダルクの生活をする中で、サポートを仲間同士でやっています。先に入った仲間が後から入ってきた新しい仲間へ自分がしてもらったことを手渡していきます。それは日常生活の細かい事も伝える事もあります。

私はダルクに繋がった時、本当に何も出来ませんでした。薬を使わないと掃除も出来ないし、整理整頓も出来ないし、次に何をしたらいいのかわからないのに聞くこともせず、ボーっとしているような状態でした。その時女性の先行く仲間が一人いて、私に一つ一つゆっくり教えてくれました。そのおかげで薬を使わずに自分の身の回りの事を出来るようになり、ダルクの生活にも慣れていきました。私のリハビリはそこから始まりました。

自分がサポートを仲間へやってみようとする時、「言っていないのだろうか。」「これは余計な事だろうか。」「うるさいと嫌がられるだろうか。」と怖いのでやらずに済む言い訳を言い訳とも気付かず、関わるのを避けていました。

スタッフになってから、恐れて関われない事、言えない事も沢山ありますがミーティングやスポンサーシップを取りながらやらせてもらっています。そのことによって自分にも沢山気付かされることを与えられています。



おうまさん

××××××××××

(まんが執筆 岐阜ダルク後援会 齋藤幸二)

スタッフ 山田興久



今年は桜も早く咲き、あつという間に本格的な春となりました。毎年のように施設を出て気分を変えて、桜の下で花を眺めながらミーティングをやってきましたが、今年はタイミングもあわず、その機会を失ってしまったのは残念でした。

しかし、この春も Step house の仲間たちが晴れやかな笑顔になれることがありました。大勢の人たちの前で2回目の劇を演じ、ベストを尽くすことができたのです。

12月に教会で行った劇のDVDを見た仲間から、岡山で開かれた自助グループのイベントに招かれたのです。前回のシナリオを基に、薬物依存症になった少女が自助グループのプログラムにつながり回復していく「私たちはなぜここにいるのか」と言う物語を仲間が書きました。今回も先生にご指導いただきながら、シナリオを固め、演技を練習してきました。練習を重ねるうちに、本番に向けて仲間たちが一つにまとまっていたように思います。

当日は、依存症の当事者を中心に70名程の人たちが集まりました。上演時間を待ちながら、セリフをブツブツと口にする仲間、互いに演技を確認しあう仲間、落ち着きを求めて祈る仲間、いろいろな姿が見えました。上演時間となり、舞台そでで手をつなぎ輪となって、成功を祈り気合を入れて劇を始めました。緊張で手を震わせながら演技をしましたが、おかしなセリフに、見ていた人たちの間から笑いが漏れたりするうちに落ち着いてきました。40分程の舞台を皆で創ることができました。

薬を止められない苦しさを少女が叫ぶ声を聞いて、涙を流す観客の姿もありました。集まった仲間の中には共感があったのだと思います。終わった後には口々に「良かったよ」と声をかけてきてくれました。皆さんのそんな反応が、ベストを尽くした充実感を増してくれました。薬を使わない新しい毎日の中で、また一つ得られた喜びでした。こうした機会をつくってくれた岡山の仲間たち、先生始め大勢の人達に感謝です。

岡山から帰ると、私にはもう一つ大きなプレゼントがありました。薬を使ってきて逮捕されたためにもう会えなくなった私の子どもたちの今の写真を、昔の妻とつながってくれている母がメールで届けてくれたのです。12年ぶりに見る3人の子どもたちは、どことなく昔の面影を残していましたが、想像できなかったほど大きくなっていました。涙がこぼれました。見るからに健康そうに育ててくれた人たちに心から感謝しました。この時があるのも、私が今薬を使わずにいるからでしょう。私たちのプログラムには、傷つけた人たちに「埋め合わせ」をする段階があります。その機会が与えられる時が来るようプログラムを続け回復していきたいと、改めて胸に刻みしました。

演劇「どん底からの出発」を上演します。

《日時》

平成30年5月20日(日) 午後2時~3時

《主催・会場》

大垣ルーテル教会

(大垣市林町7-141、TEL0584-78-1580) JR大垣駅から東に徒歩20分位です。

ぜひお越しください。

ご支援・ご協力をいただき心から御礼申し上げます

献金者名（平成30年1月14日～4月13日）敬称略

伊藤直美 堀尾佳広 石川恭二 亀田公子 千田知栄 日興製菓株式会社代表取締役社長・日置雅治 カトリック江南教会 カトリック豊橋教会 田口大輔 日本聖公会中部教区愛岐伝道区 浅野辰夫 河合正嘉 市岡多賀賜 平川玲子 河合潔 北谷雅春 前田功 島源三 福岡和男 伊藤晴吉 中堀義広 武芸川町仏教会 木下容子 藤本正夫 (宗) カトリック神宮修道会・多治見教会 梅岡一哲 (有)ユー・アイ・シー 鶴岡武彦 水野滋子 檜田邦自動車株式会社 公益財団法人・名古屋YWCA 藤本弘 野々垣多美子 弁護士・林真由美 勇昭代 光楽英生 岩田恭子 大垣病院 カトリック岡崎教会 村松宏幸 永嶋恵美 カトリック小牧教会 木村美保子 清水宗夫 小島良徹 小田泉 伊藤久美子 堀尾佳広 有安祥子 鎌田恵子 阿部賢彦 村松みよ子 カトリック名古屋教区社会福祉委員会 幼き聖マリア修道会 堀善一 原政子 カトリック五反城教会 澤田透 武内榮子 原田美喜子 カトリック多治見教会の皆様 日本キリスト改革派那加教会の皆様 カトリック各務原教会の皆様 日本同盟基督教団 古川教会の皆様 日本バプテスト連盟 東山キリスト教会の皆様 名古屋聖マタイ教会の皆様 救世軍名古屋小隊聖別会の皆様 ルーテル高蔵寺教会の皆様 カトリック大垣教会の皆様 カトリック稲沢教会の皆様 枝木敬子 弁護士・山本亮 大垣ルーテル教会・柴田るみ子 橋本博 岐阜キリスト教会 吉田加代子 中堂美保子 弁護士・伊藤知恵子 高橋直子 笠松キリスト教会の皆様 関キリスト教会の皆様 岐阜カトリック教会女性部 羽島地区更生保護女性会代表・伏屋孝子 上田千津子 海津市更生保護女性会・中島雅子 山科正太郎 国際ソロプチミスト岐阜 ハルビア音楽会の皆様 岩田恭子 カトリック膳棚教会 匿名者多数

献品者名（平成30年1月14日～4月26日）敬称略

杉浦雅美 原田美喜子 木下製網株式会社 マリアローザ 笠原扶企子 加藤龍子 石川恭二 トキ 植村政子 清水由子 匿名者多数

※お名前記載につきましては注意を払っておりますが、万が一お名前誤字・脱字または記載漏れなどございましたら、誠に申し訳ありませんが、ダルクまでご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

※発送作業簡略化のため皆様全員に振込用紙を同封させていただいておりますことをご了承下さい。また匿名希望の方は、恐れいりますが、その旨を振り込み用紙通信欄にその都度ご記入下さいようお願い致します。

※岐阜ダルクでは岐阜ダルク及び女性ハウスの2施設の地代家賃、水道光熱費、専任スタッフの人件費等、毎月一定の固定費がかかる一方、「中間施設」の性格上、きわめて財務基盤が不安定で、皆様方のご寄付が欠かせません。引き続きご理解とお力添えをお願い申し上げます。

岐阜ダルク 郵便振替口座 00840-5-167752 岐阜ダルク後援会

※雨の日の運動プログラムで使いたいため、ご家庭で使わなくなったフィットネスバイク、卓球のラケット・ピンポン玉がありましたらお譲りください。また現在使っているキーボードでは演劇等で演奏できない曲がありましたので、88鍵のキーボードをお譲り下さい。よろしくお願ひします。(TEL 058-201-3555)



編集 特定非営利活動法人 岐阜ダルク
編集責任者 遠山 香
編集担当 岐阜ダルク後援会 齋藤幸二 鈴木輝一郎
〒500-8175 岐阜市長住町7-3
Step house 〒500-8864 岐阜市真砂町11-12 不破ビル
Tel/Fax 058-201-3555
Email: gifudarc2004@yahoo.co.jp
ホームページ: <http://gifu-darc.sakura.ne.jp/>
ダルク日記『今日もぐるぐる』: <http://darcblog.ablo.jp/>
岐阜ダルクニューズレター平成30年春号 (№65)
定価 1部 200円
発行所 東海身体障害者団体定期刊行物協会
名古屋市中区丸の内3-6-43 みこころセンター

